

科目名	グローバルインターンシップ		英文表記	Global Internship	2012/03/14	
科目コード	6022		教員名:【情報通信システム工学科】 杉本和英、兼城千波			作成
技術職員名:						
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース		専2	選	学修	2単位	実習
科目目標	海外での研修(企業・語学研修など)を通してグローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につけさせ、異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につけさせることを目標とする。					
総合評価	研修(日報による評価40%)・研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。60%以上を合格とする。					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		
	①	海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。(A-3, A-4, B-1, B-2, B-3)		⇒	研修(日報による評価)・研修先の評価、およびインターンシップ報告書の内容で評価する。	
	②	異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(A-1, C-1, C-2, C-3)		⇒	研修先の評価、およびインターンシップ報告書の内容で評価する。	
	③	海外での研究・学習を通してグローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。(A-3, A-4, B-1, B-2, B-3)		⇒	インターンシップ報告書の内容で評価する。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学
	◎			○	JABEEプログラム教育目標	A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3, C-1,C-2,C-3
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【概要】 学校教育と海外における就業もしくは研究体験の結合により、より高い国際感覚を醸成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識・経験を活かし、海外における実務研修を通じて国際社会に必要な素養・能力(企画力・計画性・実行力・協調性・意思疎通・情報伝達・コミュニケーション能力・情報管理能力など)を実践レベルで身につける。</p> <p>1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基きインターンシップを実施する。 2. 海外の環境で長期にわたって業務を体験することで、実践的なスキルを理解する。 3. 海外での実務経験を通して、国際感覚を醸成し、国際社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と海外における就業もしくは研究の結合により国際感覚を醸成し、自主性・創造性溢れる人材育成を目指す。</p> <p>5. 教員作成資料、企業作成資料</p>					
教科書・教材						
授 業 計 画						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			自学自習(予習・復習)内容
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス。			
2	インターンシップ先の研究	9	海外受入機関(大学・企業)ならびにテーマ等の検討。			海外企業・大学の調査
3	インターンシップ	160	約14日～21日間の、海外受入機関(大学・企業)における研修活動の実施。			与えられる研修内容の自己研究・調査
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告			資料作成
5						
6						
7						
8	前期中間試験(行事予定で変更可)					
9						
10						
11						
12						

13			
14			
15			
期末	期末試験		
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23	後期中間試験(行事予定で変更可)		
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
期末	期末試験		
学習時間合計		180	実時間
			135
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)			標準的所用時間(試行)
①	企業内研修・大学研究での課題レポート		各2時間×20回
②	課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り、発表する。)		各5時間×2回
備考欄			
(共通記述)			
・ この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。			

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)